

令和4年度 市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和4年5月29日（日）午後4時～午後5時40分

開催場所：地域交流センターともべ「トモア」

出席者：18名

《説明後の意見交換》

- 1 消防後援会費について
- 2 友部駅北口の美術館について
- 3 いこいの家「はなさか」の設備について
- 4 工芸の丘のトイレについて
- 5 区長制度について
- 6 信号の設置について
- 7 横断歩道と点字ブロックについて
- 8 子どもたちの安全に配慮した公共工事について
- 9 めぐみこども園の移転について
- 10 自治体の情報システムについて
- 11 給付金等の誤支給について
- 12 北山公園について
- 13 歴史的遺産の管理について
- 14 山新友部店付近の道路について
- 15 友部駅南口駐車場入口付近のポールについて
- 16 自然について
- 17 山林の保護と木材の再利用について

1 消防後援会費について

【意見等】

区の会費が高い行政区がある。区の役員を敬遠する人もいる。自分が班長のときは、加入者に消防団後援会費の説明をしたが、消防団（員）に後援会費が渡り、消防団員の飲食に充てられているのは違反だと思う。横浜の判例もある。後援会費の徴収をやめるよう指導してほしい。

【意見等】

私も区長をやっていたが、消防団員は自分の業を持ちながら活動しており、見えないところで防火の努力をしている。市民が安心して暮らせるのは消防のおかげであるので、理解している。

【回答】

現在、行政区と自治会が混同している。日本赤十字の募金や社会福祉協議会、交通安全母の会、消防後援会などの会費徴収は「自治会」の役割。一方、市民と市の橋渡し役が「行政区」の役割。集会所を作るための費用を出し合っている行政区もある。行政区と自治会のそれぞれの役割をきちんと理解してもらうことが大事である。募金や会費徴収のあり方について、今後各団体と協議する予定である。

消防団への報酬や後援会費は、決して無駄なことではない。消防団員の活動は名誉なことである。課題は、団員が集まらないことである。

2 友部駅北口の美術館について

【意見等】

友部駅北口にできた小松崎美術館が開いていない。見学できるようにしてもらえないか。

【回答】

土地の利活用を公募したところ、小松崎さんという、鹿嶋沖で風力発電を運営する事業者が、本社機能を移転して事務所と美術館を建てた。美術館は閉まっているときもあるが、見たいと言っている人もいるということで、できるだけ早く公開してくれるように先方に伝える。

3 いこいの家「はなさか」の設備について

【意見等】

入浴施設である「はなさか」のボイラーの調子が悪いようで、お湯が熱かったりぬるかったりする。また、トイレの水漏れや誘導灯の電気切れなどもあり、使いづらい。施設管理者もいると思うが、市でも対応してほしい。

【回答】

はなさかの施設が老朽化しているのは事実だが、老朽化と施設の不具合は別問題である。市と契約して管理を任せている施設管理者に、いただいた意見を伝え、対応してもらう。

4 工芸の丘のトイレについて

【意見等】

ひまつりのときに工芸の丘に行ったが、仮設トイレではなく、常設トイレからにおいが出ている。改善してほしい。

【回答】

笠間工芸の丘は、今年から全面改修の設計を行う。トイレのにおいに関しては、管理者にしっかり話しておく。

5 区長制度について

【意見等】

横浜から移住してきたが、区長制度は無かった。笠間市に来てからは困りごとや分からないことは区長に聞いている。区長が市につないでくれていることを実感している。

【回答】

全国や県内では、区長制度を採用している自治体と採用していない自治体がある。区長制度は、市が区長に行政区の業務を委嘱しているもので、行政区は市から交付金を受けて運営されている。自治会は、地元住民が自ら立ち上げてコミュニティを作っている組織である。笠間市では自治会と行政区が混在している状態であるため、複雑になっている。

6 信号の設置について

【意見等】

友部サービスエリア (SA) スマートインターチェンジの上下線出入口 (JA 栗選果場前 T 字路とキヤノン前 T 字路) の信号設置について検討していただきたい。

【回答】

信号は、「ないよりあったほうが良い」から設置するというわけではない。信号の要望は多数ある。その中でも県は、優先順位や状況を踏まえて設置している。基本的に、大きな道路ができたとき以外は新たに信号を設置していない。信号が無い代わりに対応として、市では試験的に、横断歩道を渡るときにボタンを押すとランプがつく装置を、友部消防署付

近に設置した。また、北川根小学校前と市役所本庁敷地内に、立体的に見える横断歩道を設置した。このような対策を取って交通安全を確保していきたい。

7 横断歩道と点字ブロックについて

【意見等】

友部図書館前の横断歩道が消えている。また、笠間図書館前の歩道の点字ブロックがはがれていて危険なので、修繕してほしい。

【回答】

ご意見の箇所の点字ブロックは、埋め込みではなく貼り付けたものである。はがれているところは修繕する。

8 子どもたちの安全に配慮した公共工事について

【意見等】

昨年度、市役所本庁前の工事が長期間行われていた。丁寧に工事していたのかもしれない。しかし、小中学生の通学路となる道路の工事や、学校周辺の工事などは、子どもたちがあまり通らない時期（夏休みなど）に実施したり、工期を短くしたりして、子どもたちの安全を確保してほしい。また、そのようなことができる業者を選んでもほしい。

【回答】

工事期間が長かったのは、市役所本庁敷地の外構工事が終わってから、歩道の工事を行ったためである。公共事業において入札を経ないで、できる業者を選ぶわけにはいかない。しかし、学校周辺では短期間の工事が必要だと思うので、配慮は心がけたい。

なお、歩道については、本庁舎前から友部中学校まで拡幅したいと考えている。また、友部中学校前の信号付近は道が狭いので、広げられるよう努力したい。

9 めぐみこども園の移転について

【意見等】

旧岩間公民館跡地近くに住んでいる。市が同跡地の土地を売却し、そこにめぐみこども園が移転するという話を最近知った。先月、こども園から封書（工事開始通知・平面図）が近隣住民にポストイングされており、来月から工事を開始し、来年に開園する、コロナ禍のため住民説明会は行わない、との内容だった。市から事前説明がなかったのは理解しがたい。売却前の時点で、市の方向性や入札業者がどこなのかなどの説明がほしかった。こども園の移転により、住環境や生活道路の交通状況が変わることが不安である。同跡地には、古墳や埋蔵文化財があると聞く。今からでも市として売却前の状況から説明をし、住民の意見聴取をしてほしい。あるいは住民説明は不要ということなのか、あわせて確認したい。

【回答】

同跡地は、公募でめぐみこども園が落札した。市からの説明や情報提供などがあったかどうかは確認する。コロナ禍ということであれば、何らかの形で住民への情報提供は必要だと思う。情報提供がなくて説明が必要だということであれば、市とこども園で説明し、住民の意見を聞くことは大事である。こども園と協議し、住民の意見を聴く場を設けたい。なお、同跡地には古墳はあるが、埋蔵文化財はない。

10 自治体の情報システムについて

【意見等】

デジタル庁が発足した。国では自治体の情報システムの標準化を促しているようだが、国からの通知や国への要望などはどのようなになっているのか。

【回答】

国は、各自治体にシステム統一の方針は出している。システム委託業者ごとに各自治体の対応はバラバラであるが、標準化によって利便性は高まる。また、システムの標準化に移行する予算関係については、全国市長会を通して国に要望し、国が100%補助することになっている。

11 給付金等の誤支給について

【意見等】

山口県阿武町で多額の給付金の誤支給があったが、笠間市で同様の問題があったか。

【回答】

今まで少額のものはある。基本的には人的ミスが多い。笠間市でも、誤入金となった場合の対応を見直した。特に公金を扱う職員には周知している。

12 北山公園について

【意見等】

北山公園にはバーベキュー場やオートキャンプ場がある。近くに道の駅もできたため、市外・県外からの来訪者がさらに多くなると思う。市として北山公園の長期的な計画はあるのか。

【回答】

公園利用者には散歩の方もいる。国有林もありなかなか難しいが、利活用に民間の力を借りる公民連携なども検討している。しかし、良い案が出てこない。

【意見等】

市議会の一般質問にもあったが、北山公園のモミジについて具体的に考えていることはあるか。記念樹を植えるのも良いと思うがいかがか。

【回答】

北山公園のサクラは、他の木の間にあるため弱っている。寒暖の差できれいに咲くモミジで公園の魅力が上がるのでは、という考えはある。記念樹の検討は進めていく予定である。

13 歴史的遺産の管理について

【意見等】

市が大日堂を購入したことは感謝する。一方、つつじまつり来訪者から、坂本九ちゃんの家について聞かれた。歴史的な遺産や文化的な施設などの管理費について、管理者に補助を出してもらえるとありがたいと思うがいかがか。

【回答】

坂本九さんのご家族は「かさま応援大使」になっている。防災無線のチャイムも九さんの曲である。「九ちゃんの家」は、九さんの生家ではなく疎開したところであり、所有者は坂本家とは別個人の民家である。市では民間に支援はしていないが、国や県などに指定された文化的価値のあるものには支援している。大日堂は木村武山の生家で絵も残っているので、市が購入した。

14 山新友部店付近の道路について

【意見等】

山新友部店付近の道路で下水道工事をした箇所があると思うが、鉄工所付近の道路が下がっている。埋め戻しをしたためなのかもしれないが、不安定なので、対応してほしい。

【回答】

確認して対応する。

15 友部駅南口駐車場付近のポールについて

【意見等】

友部駅南口駐車場の出入口付近のポール3本ほどが古くて倒れている。美観上、また安全対策の面からも交換や補修をしてほしい。

【回答】

ゴムのポールは経年劣化がある。早めの交換を指示する。

16 自然について

【意見等】

市では地域や経済の活性化として、工場の誘致や施設の改修などを進めているが、笠間市は自然豊かな土地なので、自然を残すことも考えていただきたい。

【回答】

自然を守るべきところはしっかり守っていく。一方で経済の活性化も必要なので、工業団地の誘致も進めていく。

17 山林の保護と木材の再利用について

【意見等】

CO2 吸収源の適正管理に関連して木の間伐の話があったが、水源涵養林など山を守ることが自然を守ることにつながる。市民と一緒に取り組むと良いと思う。また、間伐した木材を再利用できるような取り組みをお願いしたい。

※水源涵養林…主に河川等の上流に位置し、水資源利用の視点から重要とされる森林

【回答】

間伐しながら適正な管理をすることが、山を守るうえで必要である。2024 年から森林環境税 1,000 円が住民税に上乘せされ、国が徴収し、国内の山林資源を活用し、森林を守る取り組みに使われる。そして、製品としての木材が流通することで林業経営が成り立っていく。また、スーパーのカスミが関係団体と愛宕山で毎年植林したり、笠間地区林産協同組合も木材の活用を行ったりしている。